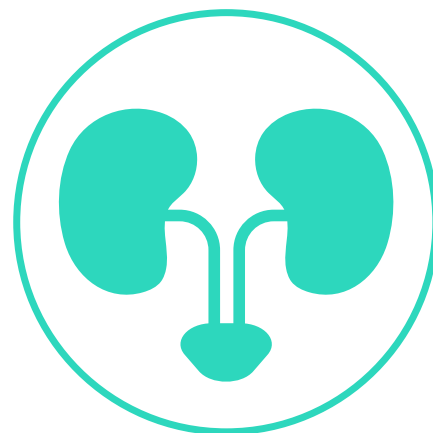




腎臓と泌尿器系の障害

犬の尿路感染症

尿路感染症 (UTI) は、生涯で 14 % の犬が罹患すると報告されています。



尿路結石は食事の影響を直接受けるものではありませんが、ストルバイト尿路結石症（最も一般的な 2 種類の尿路結石の 1 つ）、高いボディコンディションスコア、糖尿病など、栄養学的に反応するいくつかの病気や状態に関連している可能性があります。

キーマッセージ

- 犬のストルバイト尿路結石症の多くは、Staphylococcus pseudointermedius などのウレアーゼ産生菌による尿路感染症の合併症として発症します。尿路結石の除去や尿路結石の再発防止の鍵となる抗生物質（培養と感度で選択）との組み合わせで、栄養はストルバイト尿路結石の溶解に重要な役割を果たします。
- 理想的な体調を維持できるような食事を与えることで、尿路感染症のリスクを減らすことができるかもしれません。
 - 尿路感染症の多くは、糞便性細菌による上行性感染症です。過体重や肥満の犬は、尿路性器に余分な皮膚があり、糞便中の細菌が住みやすい環境にあるため、尿路感染症のリスクが高くなる可能性があります。
 - 研究により、猫の尿路感染症の危険因子として低いボディコンディションスコアが特定されています。これは、痩せた猫では全身の免疫力が低下しているからかもしれません。低体重の犬で同じことが起こるかどうかは、確立されていません。
- 相反するデータがありますが、尿路感染症の多くある危険因子として、糖尿病など栄養管理が重要な役割を果たす他の疾患の存在が示唆されています。

追加のリソース

Byron, J. K. (2019). Urinary tract infection. *Veterinary Clinics of North America: Small Animal Practice*, 49, 211–221. doi: 10.1016/j.cvsm.2018.11.005

Weese, J. S., Blondeau, J., Boothe, D., Guardabassi, L. G., Gumley, N., Papich, M., Jessen, L. R., Lappin, M., Rankin, S., Westropp, J. L., & Sykes, J. (2019). International Society for Companion Animal Infectious Diseases (ISCAID) guidelines for the diagnosis and management of bacterial urinary tract infections in dogs and cats. *The Veterinary Journal*, 247, 8–25. doi: 10.1016/j.tvjl.2019.02.008

Merkel, L. K., Lulich, J., Polzin, D., Ober, C., Westropp, J., & Sykes, J. (2017). Clinicopathological and microbiologic findings associated with emphysematous cystitis in 27 dogs. *Journal of the American Animal Hospital Association*, 53(6), 313–320. doi: 10.5326/JAAHA-MS-6722

Purina Institute は、ペットがより長く、より健康的に生きるための、科学に基づく顧客に寄り添った情報を提供することで、ペットの健康に関する議論の最前線に栄養を位置付けることを目指しています。